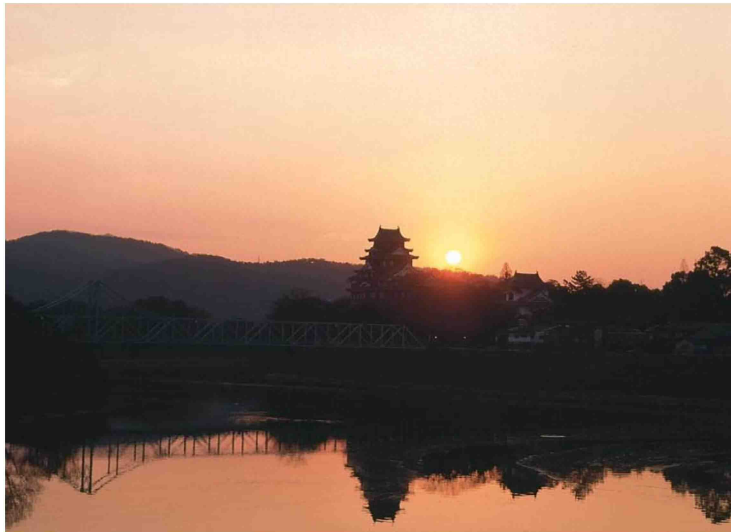


岡森連時報

発行
岡山県森林組合連合会
岡山市北区岡南町2-5-10
電話 086(222)7671
FAX 086(224)2655
ホームページ
<http://www.okmori.or.jp>

迎春



▶ 岡山城の後ろから昇る日の出
(写真二匹) 晴れの国写真館

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から森林組合系統の業務推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。林業は、木材を繰り返し生産・供給する営みを通じて、活力ある健全な森林を育てながら、私たちの生活環境をより快適に保つといった重要な役割を果たしており、現在では、先人の努力により造成された豊かな森林資源の多くが収穫期を迎えています。

このような中、

我が国の木材自給率は一時18%台にまで落ち込んでいましたが、平成二十三年から6年連続で上昇し、平成二十八年には34.8%まで回復しました。また、岡山県では、ヒノキの生産量が平成二十四年から5年連続して日本一を記録。そして、公共建築物に限らず幅広く木材を活用してもらうための「岡山県産材利用促進条例」が制定されるなど、優先して木材を活用する「ウッドファースト社会」の実現に向け、明るい兆しが見えてきたところです。



岡山県森林組合連合会

代表理事 会長

井手 紘一郎



しかしながら、国産材の需要、価格は依然として低水準にあり、林業生産活動の停滞と見通しの不透明さについて懸念されているところでもあります。

当会としては、本年も森林組合系統一丸となり、岡山県の各種施策と連携しながら、木材の生産活動を通じて森林の有する多面的機能の発揮に寄与するために、皆伐後の再造林等の森林整備を推進するとともに、木材の需要拡大等に取り組んで参ります。また、森林を整備する林業就業者の誘致活動、林業の作業体験会の開催、専門的な知識・技術を備えた人材を育成するための各種研修事業を行い、担い手の確保と育成に取り組み、林業・木材産業の発展に努めて参る所存であります。

関係の皆様の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。あけさついたします。



岡山県森林組合連合会



代表理事 会長	井手 紘一郎
副会長 理事	森野 茂
代表理事 専務	吉岡 哲哉
理事	西本 健三
理事	竹本 俊郎
代表監事	横木 義弘
監事	甲元 孝昌
監事	長代 直行
総務部長	實村 文昭
総務課長	有松 和展
事業部次長 (本会本務)	門野 由範
事業部次長 (新見本務)	井上 純一
事業部次長 (勝山本務)	塚本 裕三
事業部次長 (津山本務)	森岡 保博
職員一同	



岡山県農林水産部長
上原 毅

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から森林・林業行政をはじめ県行政の全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、現在の森林・林業をめぐる情勢は、戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、豊富な森林資源の循環利用に



向けて、新たな木材需要の創出や安定的・効率的な国産材の供給体制の構築等により、林業の成長産業化を実現することが重要な課題となっています。

県におきましては、県

政の羅針盤となる「新晴れの国おかやま生き活きプラン」や「21おかやま森林・林業ビジョン」に基づき、「伐って、使って、植えて、育てる」林業のサイクルを循環させ、適正な森林整備を推進し、多様で豊かな森林を次世代へ引き継いでいくため、一層の県産材の需要拡大、木質バイオマス資源等の新技術開発、低コストで効率的な作業システムの開発による林業の収益性の向上、次代を担う力強い担い手の育成、少花粉スギ等への植え替え推進などに努めてまいります。

また、昨年4月に健全な森林の育成や木材産業の持続的な発展を目的に「岡山県県産材利用促進

条例」を施行し、品質・性能に優れた県産ヒノキ製材品の海外への販路拡大やCLTの普及、東京五輪関連施設への利用を視野に県産材の利用促進に取り組んでいるところです。



このような中、岡山県森林組合連合会及び各森林組合におかれましては、「皆伐・再造林促進支援事業」を引き続き強力に推進され、森林組合系統による再造林の促進に積極的に取り組んでおられます。地域や森林の現状に精通した林業経営の中心的担い手として、今後とも、収益性の向上と効率的かつ安定的な森林経営に取り組み、地域の森林整備と県産材の安定供給にご尽力賜りますようお願いいたします。最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



農林中央金庫
岡山支店長
川崎 信一郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、当金庫業務につきましては、毎々格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界経済は、底堅い景気回復が続く米欧経済を中心に全体として緩やかな成長が継続しておりました。また、日本経済も輸出・生産の持ち直しにより緩やかな成長が継続しておりました。

森林・林業におきましては、持続可能な林業経営に向けた適正な木材価格の実現や担い手の確保が依然として喫緊の課題であり、厳しい状況が続

いております。こうしたなか、二〇二四年度からの森林環境税の導入が決定され、森林整備の充実とこれに携わる人材の育成などが期待されるところでございます。

また、林業の成長産業化に向けて昨年4月に改正森林法等が施行されるとともに、二〇二〇年の東京オリンピック開催等を背景として木材需要が増加するなど、官民一体となって国産材の利用拡大に向けた機運が高まっております。加えて、岡山県におきましては、昨年4月に「岡山県県産材利用促進条例」が施行され、県産材の更なる需要拡大が期待されます。

当金庫が実施している林業労働安全性向上対策事業では、上期募集に対して一八二件二七〇万円

の応募がございました。また、国産材の利用・販売拡大に向けて、産業界・学術界・金融界連携により二〇一六年度に設立し



たウッドソリューション・ネットワーク（24社・団体で構成）では、分科会を立ち上げて課題抽出・解決に向けて活動しております。このように当金庫では、林業ならびに森林組合系統の発展に向けて、適切な金融機能の發揮のほか、森林施業の集約化・高度化や国産材の利用・販売拡大に向けた取組みを進めております。

本年も皆様のお役に立てるよう精一杯取組みを進めていく所存でございますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



全国森林組合連合会
代表理事会長
佐藤 重芳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より皆様方におかれましては、森林組合活動へのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で豪雨災害や山林火災等に見舞われ、森林組合系統への被害が大きき発生した一年となりました。特に九州北部豪雨では、森林組合系統関係者を含めた多くの尊い命が失われる事態となり、哀心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、地球環境のバランスが崩れ、大規模な自然災害が幾度も発生する中、防災・減災面、地球温暖化防止等、森林の多面的機能の維持・発揮が一層求められております。一方で、我が国の森林・林業は境界明確化や担い手確保、再造林、

苗木の安定供給、シカ等の獣害対策等の課題が山積しており、これらを着実に解決していかなければなりません。私たちの仕事は決して華やかなものではありません。しかし、非常に意味のある重要な仕事だと捉えております。森林づくりの成果は今すぐに私たちが目にすることはできませんが、今ある森林は未来のために先人達が残してくれた財産です。私たちも未来へ健全な森林を託せるよう、森林づくりの邁進していく決意です。

また、昨年は林政の方向が大きき動いた年でした。

平成三十年度税制改正大綱では、「次期通常国会における森林関連法令の見直しを踏まえ、平成三十一年度税制改正において、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）を創設する」と明記され、森林組合系統の長年に亘る悲願が結実しました。森林環境譲与税（仮称）については、平成三十一年度より市町村及び都道府県に譲与されることとなっており、我々は、各地域でこの大切な財源を活用して、都市住民を含めた

国民全体が恩恵を受けられるよう森林を適切に整備していかなければなりません。また、その実効を担保する仕組みとして、森林の管理経営を意欲ある持続的な林業経営者へ集積・集約化する「新たな森林管理システム」の法制化が進められており、本年も林政の動きをより一層、注視して参ります。系統の皆様方には、『Forest森林・林業・山村未来創造運動』を推進し、施業共同化・低コスト林業・国産材の安定供給、組織体制の強化等を着実に進捗いただきたくお願い申し上げます。

本年は戌年です。戌とは「二印」と「戈（ほこ）」からなる文字であり、作物を刃物で刈取り、ひとまとめに締めくくることが表しています。この時期はエネルギーを蓄えるのに大切な期間でもあります。次の季節に満開の花を咲かせられるよう、皆様もしっかりと蓄えをし、充足した一年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



地球を守り、森林を守る
国際ルール 森林認証制度

岡山県森連は、SGECの
COC認証を取得申請中です

森林を守る国際ルールの一つが「PEFC」です。そして、日本にはPEFCと同じ考え方で、日本の環境にあわせて作られた「SGEC」というルールがあります。

森林認証のルールを守った会社や人々がつくるものだけが認証のマークを使うことができます。PEFCやSGECマークが入っている製品には、様々な会社や人々の地球環境保護への決意が込められています。

私たちが「モノを買う」という日常の行動で森林を守ることができます。

日本での普及率はまだまだ低いのですが、SGECやPEFCのマークが入った商品を優先的に買うことが、森林認証制度の普及に繋がり、地球環境を守ることを応援することになります。

「一般社団法人緑の循環認証会議パンフレットより」

森林認証制度は、森林管理（FM）認証とCOC（加工・流通過程の管理）認証の2つの認証で構成されており、当会では3つの木材共販所と木材センターがCOC認証を申請しています。早ければ1月中旬に承認される見込みです。

国際的な木材取引においては、森林認証材が標準となりつつあり、東京五輪・パラリンピック競技大会の選手村や競技施設の整備等においても、国際基準に合致した森林認証制度に基づく認証材が採用されることとなります。

森林保険

本年も森林保険の加入促進等のご協力を
よろしくお願いいたします。



新たに17名のフォレストワーカーが誕生



▶ 研修を修了した 緑の雇用3年目研修生

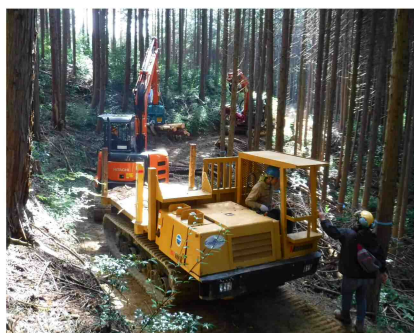
12月7日、緑の雇用3年生の集合研修が終わり、新たに17名のフォレストワーカーが誕生しました。

緑の雇用では、3年間に亘り林業に必要な知識、技術、安全面を中心に研修を行い、研修現場ではチェーンソー伐倒や集材、造材などを、外部講師の指導の下、基礎から指導を受けました。また、様々な機械が導入されている最新の現場で必要な資格

等も取得しました。

研修生も3年目にもなると、休憩中の会話でも仕事の話をしたり、現場実習中に、何が危ないか、どうすれば早く、きれいな仕上がりになるのかなど、レベルの高い質問も増えてきました。

修了証を授与する際に、研修生一人ひとりに感想と決意表明をしてもらいました。「研修が終わるのが寂しい」という意見もありましたが、「こんなに多くの事業体の方と会うことはとても貴重な体験なので、これからも横の関係を大切に、岡山のエコを盛り上げていきたい」との決意表明もありました。今後もお互いに研鑽し、体に気を付けて頑張っていただいたいのと思います。



▲集材・造材・運搬の研修

新見支所に新たな 木材破砕機を 導入しました



12月18日、新見支所に新たな木材破砕機を導入しました。破砕機は「ハスキー社製タングラインダー P61500」で、以前使用していた破砕機の5倍以上の処理能力があります。上部から投入するタイプとなっており、操作性に優れ、樹皮破砕をメインに考えています。

晴れの国 岡山

林業と日本の未来を
つくる仕事とは？

就業ガイダンスに参加しよう！

2018年1月21日(日) 11:00~16:00
公益財団法人 岡山県林業振興基金

平成30年度県森連各共販所の日程(1~2月)

市日	場所	備考
1月11日(木)	勝山→津山	初市
1月12日(金)	新見	初市
1月19日(金)	勝山→津山	-
1月23日(火)	新見	-
1月30日(火)	勝山→津山	-
2月2日(金)	新見	-
2月7日(水)	勝山	-
2月9日(金)	津山	記念市
2月13日(火)	新見	-
2月16日(金)	勝山	-
2月20日(火)	津山	-
2月23日(木)	新見	特別市
2月27日(火)	勝山	特別市
	津山	-

第1861回 新見共販所市況 平成29年12月22日

長さ	径級(cm)	杉(千円/㎡)			径級(cm)	桧(千円/㎡)		
		大曲	小曲	直		大曲	小曲	直
3M	14 ～ 16	7	8	13	14	7	9	12.5
	18 ～ 20	7	8	10	14 ～ 16	13	16	21
	22 ～ 28	7	6.5	10	18 ～ 20	13	16	18
	30 上	7	6.5	10	22 ～ 28	13	15	18
4M	14 ～ 16	6	～	9	14	13	～	18.5
	18 ～ 20	8.5	～	10	16 ～ 18		16.5	18.5
	22 ～ 24	8.5	～	10	20 ～ 22	13.5	15	15.5
	26 ～ 28	8.5	～	10	24 上	13.5	15	16
	30 上	8.5	～	10				
6M	16 ～ 18		13	15	16		26	31
	20 ～ 22		13	15	18 ～ 20		26	31
樹種	価格の動向				平均単価			
杉	横這い				9,362 円			
桧	横這い				16,150 円			
取扱材積	2, 492. 697 m³							
総平均 単価	13, 266 円							